



平成 27 年 4 月の杉並区の保育所入所待機児童数について 2～5 歳児は待機児童ゼロを達成するも 0・1 歳児で 42 人

杉並区における本年 4 月 1 日時点の保育所入所待機児童数についてお知らせします。

- 杉並区は、保育園待機児童の解消を目指し、認可保育所定員を対前年比で 921 人増員するなど、様々な保育施策に区を挙げて取り組んだ結果、27 年 4 月 1 日現在において、2～5 歳児の待機児童を解消しました。
- 0・1 歳児については、子どもの出生数が前年より 327 人増えたこと、産休明けや育休明け後の保護者からの申込が増加するなど、申込総数が過去 15 年で最高の 3,634 人（昨年比 206 人増）となったことなどを受け、杉並区基準で 42 人（国基準 22 人）の待機児童数となり、わずかではありますが解消に至りませんでした。
- 区においては、平成 27 年度も引き続き 10 か所の保育所の新設をはじめ、既存園における保育定員の見直しや弾力化、さらには、新設園の 4・5 歳児定員の空き状況を活用した乳児の受け入れを行うなど様々な手段を講じていきます。また、現在、0・1 歳児の保護者に対する緊急アンケートを行っており、その結果や様々なデータ分析も行って、実効性のある対策を検討し、平成 28 年 4 月の待機児童の解消に向け、引き続き区を挙げて全力で取り組みます。
- 区では、過去二年間において育児休業を延長した方などを加え、「より実態に応じた待機児童数」を区独自に算定しています。今年も東京都に対しては、この二つの待機児童数（42 人と 22 人）を報告していきます。



■待機児童数の内訳

	より実態に応じた 待機児童数		国の定義に基づく 待機児童数	
	27年4 月	26年4 月	27年4 月	26年4 月
親類・知人・友人に預ける	3人	24人	3人	24人
ベビーホテルを利用する（区の保育料補助対象外）	12人	20人	—	—
一時保育を利用する	5人	18人	—	—
職場に連れていく・自宅勤務に変更した	0人	14人	0人	14人
企業内保育施設・病院内保育施設を利用する	—	—	19人	19人
仕事を退職した・内定した仕事を辞退した・求職活動を止めた	8人	17人	—	—
育児休業を延長した	13人	12人	—	—
ベビーシッターを利用する	1人	5人	—	—
求職中のひとり親家庭など	0人	6人	—	—
合計	42人	116人	22人	57人

■田中区長コメント

杉並区では、今回2歳児から5歳児までの待機児童は解消することができました。しかしながら、0・1歳児については、出生数の増加などを受け、「待機児童ゼロ」の達成ができず、誠に遺憾に思っています。今年度も昨年度と同程度の認可保育所の新規開設を行うほか、特に0・1歳児の利用者が増えている実態を踏まえた対策を講じ、待機児童ゼロの実現に向け区一丸となって取り組んでまいります。

【問い合わせ先】

保健福祉部保育課：03-3312-2111 内線 1371